



多摩総合医療センター

〒183-8524

東京都府中市武蔵台二丁目8番29号

電話 042-323-5111

病院の概要

多摩地域における総合的な医療機能を持つ病院として、救急医療、がん医療、周産期医療、脳血管疾患医療、生活習慣病医療、難病医療、リハビリテーション医療、精神科救急医療、結核医療、障害者歯科医療及び骨髄移植医療といった高度・専門医療を実施しております。当院の重点医療は、救急医療、がん医療、周産期医療ですが、それらを支える総合診療をも強化しており、ほぼ全ての診療を網羅しております。救急医療では、救命救急センター、東京 ER 多摩総合を有し、365 日 24 時間の救急医療を提供しています。特に、脳卒中、心筋梗塞、心不全などの取扱件数は都内有数の実績です。がん医療では、がん診療拠点病院として、緩和医療やがん相談支援にも積極的に取り組み、あらゆるがん症例で高い診療実績です。周産期医療は、小児総合医療センターの NICU・GCU 部門と一体となり、総合周産期センターとして多摩地域の困難事例に対応しております。

診療科目

総合内科 腎臓内科 消化器内科 内視鏡科 内分泌代謝内科 感染症科 緩和ケア科 血液内科 脳神経内科 神経・脳血管内科 呼吸器・腫瘍内科 循環器内科 精神神経科 外科 乳腺外科 呼吸器外科（胸部外科） 心臓血管外科 整形外科 脳神経外科 形成外科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 リウマチ膠原病科 リハビリテーション科 診療放射線科 歯科口腔外科 麻酔科 病理・検査科 救急・総合診療科 救命・集中治療科

■ 基幹施設となる診療科（括弧内は連携施設病院）

- ・内科 (広尾/大久保/大塚/駒込/豊島/墨東/多摩北/多摩南/神経/松沢/帯広第一病院/秋田赤十字病院/山形県立中央病院/白河厚生総合病院/福島県立医科大学会津医療センター/竹田総合病院/水戸協同病院/土浦協同病院/JA とりで総合医療センター/栃木医療センター/(済生会宇都宮病院)/埼玉県済生会加須病院/埼玉石心会病院/さいたま市立病院/草加市立病院/(さいたま赤十字病院)/帝京大学ちば総合医療センター/国保旭中央病院/船橋市立医療センター/東京ベイ・浦安市川医療センター/亀田総合病院/国立病院機構東京病院/日野市立病院/青梅市立総合病院/昭和病院/東京医科歯科大学病院/東京都健康長寿医療センター/東京大学医学部研究所附属病院/東京大学医学部附属病院/災害医療センター/武蔵野赤十字病院/横浜市立みなと赤十字病院/川崎市立多摩病院/横須賀共済病院/(湘南鎌倉総合病院)/(国立病院機構相模原病院)/長岡赤十字病院/新潟市民病院/(新潟県立燕労災病院)/(魚沼基幹病院)/(十日町病院)/山梨県立中央病院/安曇野赤十字病院/諏訪中央病院/(高山赤十字病院)/聖隷浜松病院/沼津市立病院/神戸市立医療センター中央市民病院/島根大学医学部附属病院/(隠岐病院)/(隠岐島前病院)/飯塚病院/今村総合病院/沖縄県立宮古病院/浦添総合病院/西伊豆健育会病院〔特別連携〕/島しょ等〔特別連携〕)
- ・外科 (広尾/大久保/駒込/多摩北/多摩南/小児総合/松沢/島しょ等)
- ・産婦人科 (大塚/駒込/多摩北/東京医科歯科大学病院/杏林大学医学部付属病院/青梅市立総合病院/立川相互病院/田園都市レディースクリニック)
- ・精神科 (広尾/荏原/小児総合/松沢/東京都健康長寿医療センター/青梅市立総合病院/成増厚生病院/高月病院/多摩総合精神保健福祉センター/針生ヶ丘病院/東京医科歯科大学病院/横浜みなと赤十字病院/恩田第二病院/茨城県立こころの医療センター/山本病院/東京大学医学部附属病院)
- ・整形外科 (広尾/駒込/墨東/小児総合/東京大学医学部附属病院/自治医科大学附属病院/西島病院(静岡県))
- ・麻酔科 (広尾/大久保/大塚/駒込/豊島/荏原/墨東/多摩北/東部/多摩南/神経/小児総合/東京医科歯科大学病院/国立成育医療研究センター/聖路加国際病院/静岡県立こども病院/東京ベイ・浦安市川医療センター/埼玉医科大学病院/埼玉医科大学国際医療センター/埼玉医科大学総合医療センター/TMG あさか医療センター)
- ・耳鼻咽喉科 (駒込/神経/小児総合/虎の門病院/NTT 東日本関東病院)
- ・病理科 (多摩北/神経/小児総合/公立昭和病院/がん検診センター/川崎幸病院/東京西徳州会病院)
- ・救急科 (多摩北/小児総合/帝京大学病院(東京都)/佐久総合病院(長野県)/日本赤十字社医療センター(東京都)/浦添総合病院(沖縄県)/秋田赤十字病院(秋田県)/西南医療センター(茨城県)/NTT 関東病院(東京都)/昭和大学病院(東京都)/埼玉医科大学総合医療センター(埼玉県)/千葉大学病院(千葉県)
- ・総合診療科 (神経/小児総合/北海道家庭医療学センター/西伊豆病院/島しょ等)

() = 2024 年度より追加見込施設

■ 連携施設となる診療科（括弧内は東京医師アカデミーにおける基幹施設病院のみ掲載）

- ・内科 (広尾/大久保/大塚/駒込/豊島/墨東/多摩北/多摩南)
- ・精神科 (荏原/小児総合/松沢)
- ・麻酔科 (広尾/大塚/駒込/豊島/荏原/墨東/東部)
- ・皮膚科 (墨東)
- ・泌尿器科 (駒込)
- ・放射線科 (駒込)
- ・総合診療 (多摩北)

専門研修管理委員長及びシニアレジデントのひとこと

専門研修管理委員長からのひとこと



救急・総合診療科部長
村田 研

【優れた研修環境！】

どこで研修するかは将来に直結する可能性があり、大きな期待と小さな不安があることと思います。当院は初期研修医 31 名、シニアレジデント 104 名、専攻医 37 名を含む 397 名の医師が在籍する教育病院です。優れた研修環境は NPO 法人卒後臨床研修評価機構に以前から認定されており、2017 年には最高賞を授与されております。

【専門は深く、基盤は広く！】

当院はがんや難病に対する高度な専門医療と 1～3 次の救急医療の両方を提供する広域基幹病院であり、シニアの先生方は地域医療を実践しながら、専門性のある質の良い指導医から教育を受けることができます。新宿から 30 分ほどの住宅地に位置しているため、Common disease から Rare disease まで様々な症例が集積し、基本領域からサブスペシャリティ専門領域まで幅広く臨床能力を磨くことができるでしょう。また、東京医師アカデミーカリキュラムとして、専門施設を含む都立病院および全国各地の連携施設で一定期間研修することができるため、1 つの病院に固執せずに知識や技術を身に付けられ視野も広がることでしょう。

しかしながら当院の最大の魅力は医師の質と、コメディカル、秘書も含めた対人対応の丁寧さではないでしょうか。患者さんを他科と協力しながら診る姿勢は当院の伝統だと思います。

【研究・学習支援も！】

専門医取得のための研究指導は各科だけではなく臨床研究部からも受けることができ、生物統計専門家から研究デザインや統計解析の指導や医学英語を専門とする Native speaker から英文校正を受けることができます。当院からの研究発表は英文論文だけでも年間 100 本を越え、シニアからも毎年複数の英文論文が出ています。UpToDate® などの教科書が各自のスマホにインストールされるだけではなく、院内 PC から和文誌 1,500 以上、英文誌 2,500 以上の電子ジャーナルを無料で読むことができる学習環境も魅力の 1 つです。

【協働して学びたい先生募集！】

当院の臨床スケールの大きさを感じさせる大きな天井と病棟の窓から見える武蔵野台地を感じつつ、他科・他職種と協働して地域医療と専門医療を習得・実践し、学会発表や論文執筆もやりたい先生方はぜひ一度見学にお越し下さい。

* 数字などは 2023 年 4 月 1 日現在の物です。

シニアレジデントからのひとこと①



内科コース
4 年次
唐木田 恵

私は初期研修を終え、内科の中でもリウマチ膠原病の勉強をしようと思い当院での研修をはじめました。当院を選んだ際に、基礎知識の肉付けと専門知識の習得のどちらも可能な研修先を探して選びました。

当院は内科の入院症例のうち、common diseases は各科に振り分けられたため、内科的基礎疾患も各科専門領域の疾患もまんべんなく経験することができます。

豊富な症例数とオンオフの確保で、新内科専門医制度のもとで専門知識を身につけるに打ってつけだと思います。

この 2 年間で当院と関連の外病院で半分ずつ過ごし、さまざまな経験をする中で、より明確に今後の未来図を思い描くことができるようになりました。

そして、以前は漠然としか捉えられていなかった患者の全体像を、主治医としてみることでできるようになったと思います。

私たちと一緒に、自分の学びたいことをフレキシブルに学んでみませんか？

シニアレジデントからのひとこと②



内科コース
3 年次
鈴木 美音

私は広くさまざまな疾患や患者をみられるようになりたいと内科領域に興味を持っていました。なかなか専門性を絞り切れずに悩んでいた時、当院の総合診療科と出会いました。総合診療科は common disease や診断困難症例を中心に診療をしています。disease(疾患)だけでなく、illness(病い体験)などにも注目する患者中心の医療を超急性期病院で行える点が魅力的でした。また、専門性の高い診療科が充実しており、各科専門領域の疾患を経験することができます。

2 年目に行くことになる外病院の選択肢は多く、院内の診療科・外病院どちらも自由に研修をコーディネートできるので、フレキシブルに学ぶことができます。私自身、外病院も含めた 2 年間を通じて様々な経験を積むことができました。外病院では慢性期の定期外来、地域包括ケア病棟や緩和ケア病棟などでの研修も行い、患者の全体像を主治医としてみる力が上がったような気がします。

オンオフもはっきりした環境で、豊富な症例を経験できます。ぜひ、興味がある方は一度見学に来てください！